

油谷港防波堤工事がいよいよ着工

油谷港小型船舶避難施設整備事業

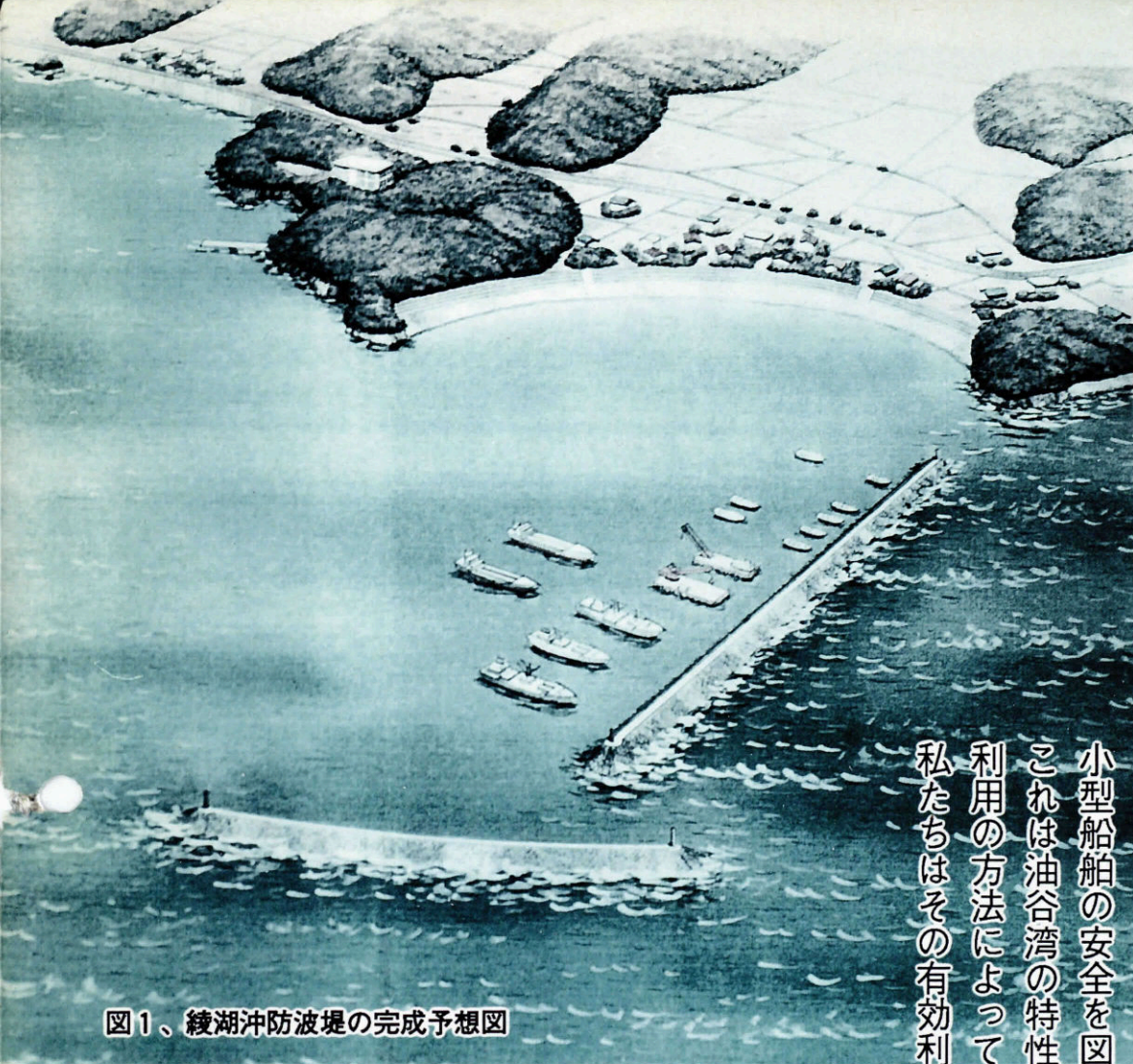


図1、綾湖沖防波堤の完成予想図

小型船舶の安全を図るための防波堤の工事が始まる

これは油谷湾の特性を生かしたもので近隣には例のない施設となる

利用の方法によっては町の活性化に寄与する可能性を秘めている

私たちはその有効利用を長期展望に立って考えていかなければならない

油谷港小型船舶避難施設整備

事業による防波堤工事の安全祈願祭と起工式が、七月十八日(火)

に伊上漁港埋立地で行われました。これにより、第一期工事分の北防波堤三五〇mと西防波堤四〇〇mの工事が平成十二年の完成をめざしていよいよ着工することになりました。(図1、2)

油谷港小型船舶避難施設整備

事業は運輸局が直接行う事業で、船舶航行の安全を確保するため全国的に避難港を整備する事業の一環としてすすめられているものです。避難港とは暴風雨のとき小型船舶が避難のために停泊することを目的とした港湾のことです。現在全国で三十六カ所

が指定されています。

油谷湾は、冬時期に荒れる日本海側に位置しているにもかかわらず、北側に約十kmに渡って向津具半島があり天然の良港を形成していることから、昭和二十九年に避難港に指定され、昭和三十七年には地方港湾に指定されています。

今度の整備事業は、その避難

港としての機能をさらに強化し小型船舶(五〇〇t未満)の安全を図るためのもので、平成二年から調査に着手し、唐崎地区(綾湖)沖に北防波堤一、二〇〇mと西防波堤五〇〇mの整備が計画され、国の直轄事業で行うこととなったものです。